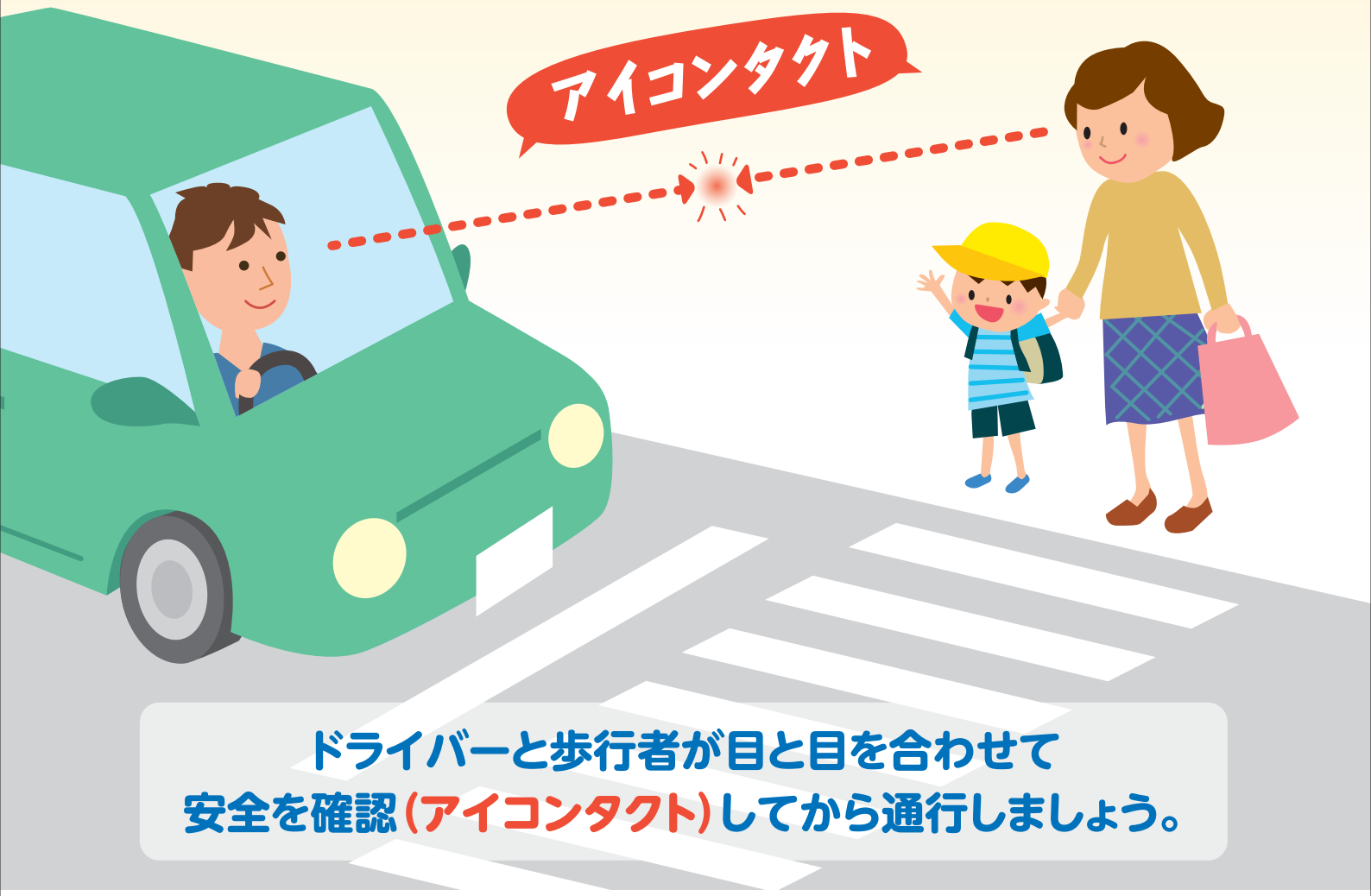
道路横断時の
交通事故防止

～目で見て確認！ 目を見て安心！ アイコンタクト・セーフティー～



ドライバーと歩行者が目と目を合わせて
安全を確認（アイコンタクト）してから通行しましょう。

歩行者の皆さん

ドライバーは横断しようとする皆さんに気付いていないかもしれません。

アイコンタクトでドライバーが自分の存在に気づいているか確認しましょう。

ドライバーの皆さん

横断歩道では歩行者が最優先です。

横断しようとする歩行者等がある場合は必ず一時停止しましょう。

また、歩行者とのアイコンタクトでお互いの安全を確認しましょう。

岐阜県警察

歩行者の皆さん

1 道路を横断するときは、近くにある横断歩道を渡りましょう。
また、横断歩道が無い場合は左右の見通しの良い場所を選びましょう。

2

道路を横断する前に一度立ち止まり、左右の安全をしっかり確認しましょう。

◆信号機のある横断歩道でも、渡る前に左右の安全を確認しましょう。
◆歩行者用信号機が青の点滅信号になったときは、無理に横断しないで、次の信号を待ちましょう。

3 車が減速や停止しても、油断することなく、ドライバーの目を見て、自分の存在に気づいているか確認しましょう。

4 道路を横断している途中でも車が来ないか左右に注意しましょう。

ドライバーの皆さん

1 横断歩道に接近した場合は、横断しようとする歩行者がいないことが明らかな場合を除き、横断歩道の直前で停止できるような速度で進行しなければいければいけません。

2 横断中または横断しようとする歩行者がいる場合は、必ず横断歩道の手前で一時停止して歩行者の通行を妨害してはいけません。

3 歩行者の目を見て、お互いの安全を確認しましょう。